



二泊三日で幹部研修会

スキー講習も併せて...

見聞町連合青年団(団長若林清一君)では町公民館の後援で、本月十一、十二の三日間、福島市土郷にある青年の家を会場にして、幹部研修会を行なった。

老人クラブも一役

社会教育研究会

「日に月にはげしくつり変わる社会において、われわれはどんなことを、どんなに活動したらよいか...」

ラジオ農業学校で所得倍増をはかろう

昨年四月から始められ、耕種技術について充実した内容でラジオ農業学校を、三月末まで、才一課程を終了するに及んだ。昭和二十七年度は、尚一層内容を充実して分野を広げ、

婦人学級ではこんな学習をした

みんな、どの人も胸の中に生活課題をもち、あためて、それを、地域、社会の問題と、仲間人間は、もともと弱いものである。他人の助けをよこす気持、人なつこい、少しづつ体力もつけていくようにするの似た仲間活動は、やがて共同の学習にすすむことである。

勉強をかえる勉強を

一人、人数は少くともよい、七、八人で、一人、一人が、目ざめ社会的な勉強をする。一、何でもできる人になる。二、人間のな心と心のつながりを作る。三、この点一回毎に集って教つていく講座ではだめだ。要するに、勉強のきり開いて行く事が大切である。課題のとりかた、自分の生活の中から見つけること、教材はここにもある。日常生活から種々使いこなし生活態度を作る。集会場所は公共的なものでなく、個人宅を使い、最低の設備を整えるよう協力する。勉強の方法として、一つの勉強を終わらば必ず反省

人間ドック

人間のドックに入れば頭もよくなり、性ねもなおります。新し、町づくりは部落学習から、部落をなおすドック入り。お互に故障をみつけるドック入り。青年の研修会などもつり集団のドック入り。社会教育関係者と称する層から先づドック入りのつもりで勉強しましょう。老人もドック入りして若返ればまだまだ役に立ちます。

人間ドック

大抵の病名を赤ん坊にかぶせるような勉強でないものを心理、人間の性質に対する研究はおくれている。教育というものは、成長の後手にまわつてはどの役にもたない。

大抵の病名

●清潔・授乳・便利のためか、居間はどうなっているか。(以下次号)

みんこそろつてラジオ農業学校に入りましょう (テキストの申込みは今すぐ農業推進員に)

福島県婦人学級生中通り大会参加報告

去る一月二十一日、二十日、八・九の両日、賀川市二小で、福島県婦人学級生大会が開かれ、私たちが五名は、伊達管内十八名の方々と共に参加してまいりました。

その頃から、お手伝い活動によつて自主的学習活動が芽ばえ、課題も「子供のしつけ」「農業技術」「健康生活」など日常生活の隅に発展し、二十八・九年前から全国にわたつて行われるようになった。内容は、政治問題や社会問題など、地域的に参透し、「話し合ひ」の中から新しい社会性が身につく、共同生活の中に集入る。自主的に立ち上る。一、団体自身がチャンスを作つて行く。二、グループを作つてやる。一、環境を作る。こうして、学習活動をつづけることによつて、一段と高いところ立つて、一段を見る態度と考える自信が

婦人学級の学習課題

- 市町村の政治から学ぶ。
○団体運営(婦人会など)
○性格・目的をはっきりつか
○組織の検討
○役員の仕事と役割
○指導者について
○事業計画のたてかた
○財政の研究
○生活における生産と消費
○婦人がよりよい家庭をつくるために、どのような活動を行ない、どのような役割を果たしたらよいか。
○家計簿の記帳運動(そのための基礎学習)
○経済のうごき目をむける
○育児と教育
○生きた一人の人間をつくりあげていく仕事(勉強がこれだけたくさんあることとは)
○「ことば」一家庭は、ことばでつくりだす

生活に結びつくこと

- 洋服が和服か―二重生活
●生活費と被服費
●作業衣の改良(もつとも)
●つと研究されてよい。
●子ども服(これも同じ)
●寝具―ねまき・枕・寝具の手入れ(おろそかにされてないか)
●下着―清潔のあたたかさ
●計画・数
●洗たく時間(の少なさを)
●用品交換の工夫
●食(八のち)を大切にすること
●調理食料理に終つていないか
●つと研究されてよい。
●米だけならは、たべなければならぬ。
●米だけならは、たべなければならぬ。
●米だけならは、たべなければならぬ。

技術者六三名

- 野野 義一 大町
佐藤 重夫 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町

視聴覚教育の技術陣OK

- 森江野 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町
根本 武夫 大町

16ミリ映画

- 野野 義一 大町
佐藤 重夫 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町

技術者六三名

- 野野 義一 大町
佐藤 重夫 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町
佐藤 正明 大町

生活に結びつくこと

- 洋服が和服か―二重生活
●生活費と被服費
●作業衣の改良(もつとも)
●つと研究されてよい。
●子ども服(これも同じ)
●寝具―ねまき・枕・寝具の手入れ(おろそかにされてないか)
●下着―清潔のあたたかさ
●計画・数
●洗たく時間(の少なさを)
●用品交換の工夫
●食(八のち)を大切にすること
●調理食料理に終つていないか
●つと研究されてよい。
●米だけならは、たべなければならぬ。
●米だけならは、たべなければならぬ。
●米だけならは、たべなければならぬ。